

江東区の職場・地域・議会などから
し・平和を守る運動をご紹介します。

発行
こうとう民報編集委員会
責任者 猪又 武夫
住所 江東区東陽2-3-5-203
電話3648-5155FAX3648-5137
ホームページ
http://www.koto-minpo.jp/

ひとりぼっちの労働者をなくそう

全労連地域こうとう労働組合第3回定期大会



9月17日、森下文化センターで地域こうとう労組第3回定期大会が行われました。来賓にコミュニティユニオン副執行委員長の平山和雄氏、江東区労連新野議長に続き、名越執行委員長がいさつ、川村好正書記長が経過報告、運動方針を提案しました。

川村書記長は、東日本大震災と福島原発事故で被災者ばかりでなく、国民生活全体を脅かしていること、原発事故の補償のため、国民への増税など許せないと冒頭に報告。

全都一の組合に
続いてこうとう地域労組が三桁という全都一の組合になったのは、退職強要や配転などあらゆる労働相談に直ちにに応じてきたこと、組合員が声を掛けて組合員にし、増やして来た事が今年の特徴とのべました。

これからの運動では、東日本震災からの復興、脱原発、消費税をはじめとする増税に反対、組合員の生活と権利を守り、貧困ノ・格差の解消、働くルールの確立を訴えました。

組合の力は大きい！
討論では「一人でも加入

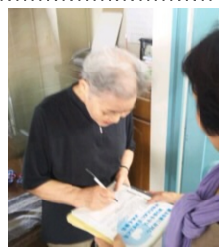
区の新たな「行財政改革案」は、「予断を許さない行財政環境の中で、未来に向けた堅固な基盤を築くため」として、さらなる職員削減と民間委託の拡大を柱に、保育園・幼稚園の保育料はじめ各種使用料の値上げ、国保料、介護保険料などの徴収強化、外郭団体職員の賃金抑制を進めるものです。

（技能系職員）の採用は原則として行いません」と明記し、職員を職種によって差別することで、人減らしのやり押しを正

この10年あまり、区は財政危機を盛んに喧伝しながら、学校給食調理や図書館業務、自転車駐車の管理などの民間委託を次つぎ

基金（貯金）は今年の3月31日時点で、総額およそ760億円余りにのぼります。

9月4日、江東区大運動実行委員会「憲法9条を守る団地署名パート4」



できる 労働組合の力はすごい。今は二人だけ、二人でも親睦会などで職場の仲間と話が出来る。半分は組合に入りたい」との元気な発言にどよめきがおこりました。

「友人が解雇されたのがきっかけで加入したが、まじめで労働者の立場をよく分かってくれる」「パーベキューを今年はやろうよ」など意見も出されました。

赤門・浄心寺（亀戸3丁目）で 関東大震災・亀戸事件88周年追悼会



9月4日、亀戸4丁目の赤門浄心寺で関東大震災・

追悼会では、東ひろたか実行委員長、日本共産党都議会議員あざ上三和子氏らが弔辞を述べました。

朝 騒

「暑さ寒さも彼岸まで」と言いますが、厳しい残暑の日々が続きます。しかしそよ

今回の学習テーマは「貧乏をなくすにやウソが多すぎ、この社会」と、原発災害を考える」でした。

「家康の入国と小名木川」



小名木川五本松（現在の四つ目通り小名木川橋北詰）

徳川家康が京・大阪から遠く離れた江戸に入ったのは1590年8月10日、その3日目には利根川の氾濫で向島の小梅あたりの堤防が危険になったこともあり、利根川を銚子に流す大土木工事が始まりました。

これとともに家康は、行徳方面から塩を江戸城に運ぶために、隅田川と中川を結ぶ小名木川の開削を命じました。（大島8丁目、宝塔寺の塩なめ地蔵。小名木川開削の際に発見されたもの。現在、整備中の川沿いの遊歩道は「塩の道」と命名）当時の海岸線はこのあたりにあり、大小の島や浮州をめぐる水路もあったので、万年橋から中川まで約4キロ余、川幅36メートルの小名木川は短期間に完成しました。

1692年、芭蕉は「女木沢桐けい興行」と題して「秋に添て行ばや末は小松川」（丸八橋北詰の大島稻荷神社の女木塚碑）という俳句を作り、また川筋にあった五本松（小名木川橋北詰）という名所まで舟に乗り「川上とこの川しもや月の夜」と詠みました。

関東各地の物資が鬼怒川や小貝川を運ばれただけでなく、奥州からの米なども、みな利根川から江戸川をへて、この小名木川を運ばれたので、小名木川は関東地方の水運の大動脈になっていたのです。

幕府は1631年に、新しく行徳船、長渡船または番船という定期航路を設けたので、江戸の人々は日本橋小網町からこの船に乗って成田にも通ったといひます。

概説 江東の歴史 (2)



戦争体験を語り継ぐつどい



第二部の原水禁報告会の様子

8月25日 江東健康友の会・9条の会は「戦争体験を語り継ぐつどい」を開催し36人が参加しました。第一部は、映画「ヒロシマナガサキ」の上映と戦争や原爆を学校現場でどう教えているかの報告。

「戦争を伝えるにくくなっている」と話す都教組江東支部の谷口はるみさん。国語の教科書から戦争を伝える物語が消え、社会科の教科書からは、南京大虐殺などの残酷さを伝える写真がなくなってしまう。また「教育改革」により、新人教員は研修づけ、教員をランク分けし、職員会議が廃止になるなど、授業をつくりあげていく場がなくなり自主的な取り組みができにくくなっていると訴えます。

8月27日 江東・生活と健康を守る会・9条の会は「私と戦争」を語るつどいを行い、戦争体験を語り合いました。坂口けいじさんは、被災地の現状を話し、おきざりにされたままの被害がたたくさんあ



軍に召集されたときに持っていった寄せ書きが書かれた日の丸

「当時はただ、お国のため」と思っていた。あの頃はそれが普通だった。洗脳されていたんだね」とみなさん口ぐちに語ります。「防空壕に隠れ

ひしと伝わってきました」とスライドを使いながら話しました。募金や区内の防災無線の改善など継続した取り組みを訴えました。

「私と戦争」を語るつどい 8月27日、江東・生活と健康を守る会・9条の会は「私と戦争」を語るつどいを行い、戦争体験を語り合いました。

失業・ワーキングプアをなくそう！ 復興をめざす今こそ雇用を増やせ！

全国青年大集会 2011

10月23日（日） 明治公園 分科会11:00～、全体会13:00～

青年大集会2011江東実行委員会

9月3日、総合区民センターで200名が参加し第19回「うたごえ交流会」が開催されました。青柳浩二実行委員長からは「今年は東日本大震災があった。今日のうたごえ交流会をみんなで楽しみ、被災地のみなさんの復興を願い、明るい未来を切り開く一歩にしていきましょう」との挨拶がされました。

第19回 うたごえ交流会

主催 実行委員会



動きができてきている中で「悲惨な戦争体験を伝えていく活動がとて大切。みんなで運動を広げていきましょう」と佐藤慶会長は呼び掛けました。歌声合唱を中心に朗読、レクダンス、アコーディオン、コカリナ演奏もあり、最後は「ふるさと」の全員合唱で、なごやかな交流会となりました。

行事日程

- 10月1日（土）「第11回定期大会」江東区労連青年部 19時、江東区文化センター（第一研修室）
10月9日（日）「けんこうまつり」江東健康友の会 10時、森下文化センター
10月24日（月）「消費税増税反対宣伝・署名行動」江東各界連 17時30分、亀戸駅北